

# NAFSA出張報告 OFIAS ブラウンバック・フォーラム

発表者: 岡田昭人  
2007年9月20日

## NAFSAの概要

正式名称 :

Association for International Educators (国際交流協  
議会)

- 歴史
- 国際交流や留学生教育を担当する人々の連合体
- 学生交換留学推進と教育の質向
- 研究者の相互交流や職員の資質向上
- 米国政府へ要請

## 第59回NAFSA年次総会出張の目的

OFIAS事業の一環として派遣

- 日程: 2007年5月27日ー6月3日
- 場所: 米国ミネソタ州・ミネアポリスのコンベンションセンター
- 出張者
  - 元井洋一(留学生課専門職員)
  - 長谷川武史(教務課大学院係長)
  - 佐藤さおり(OFIASリエゾン・オフィサー)
  - 岡田昭人(外国語学部准教授: 兼OFIASコア・スタッフ)

## NAFSA Conferenceの概要

- 5つの主要団体: Knowledge Communities
  - [Education Abroad](#)
  - [International Education Leadership](#)
  - [International Student and Scholar Services](#)
  - [Recruitment, Admissions, and Preparation](#)
  - [Teaching, Learning, and Scholarship](#)
- Plenary Address(NAFSA執行部、特別ゲスト等)
- Meeting: 分科会(Knowledge Communities等)
- Work shops: 研修会(Special Interest Groups)
- Expo Hall: 各大学、高等教育機関、留学斡旋団体等によるパネル展示
- レセプション: 各種パーティー

## 3つの主要目的

1. NAFSA総会を体験
  - ー参加者数平均で5千人(今回は1万人)
2. 世界各国からの参加者間の情報・意見交換、交流
  - ー日本からも大学やJASSO、JAFSA等の関係者が多数参加
  - ー「ポロニャープロセス」やEAIE等の情報等
- 機会をとらえ協定校候補との交渉、可能性を検討
  - ーサマープログラム、ビジネス日本語、平和学
  - ー既存の協定校との親睦を深める(オルバニー)

## 参加状況

岡田:

Education Abroadが主催する分科会出席米国のニーズ、他国の大学のプログラム、今後のプロジェクト等の調査

元井・長谷川:

本学の国際戦略に関する分科会 ポロニャープロセス、JAFSA、エキスポホール

佐藤:

様々なWorkshopへの参加 「学生募集」、「危機管理」、「成績評価」、「単位互換」、「学位認定」

全員:

キーノートスピーチ、JAPANSIG、各種レセプションNAFSA事務局、特別講演(C. Powel)、オルバニー校

## 出張成果の還元

- 協定候補校関係者とのコンタクト
- JASSO/JAFSAへの組織的関与と関係者との結びつき強化
- EAIE(欧州)/APAIE(アジア圏)への参加
- 今後予定されている留学生交流プロジェクト・スキームへの乗り入れ
  - 「ポローニャープロセス」
  - 「アブラハム・リンカーン計画」
  - 「アジア・ゲートウェイ」  
[http://www.nafsa.org/knowledge\\_community\\_network.sec/recruitment\\_admissions/bologna\\_process\\_network](http://www.nafsa.org/knowledge_community_network.sec/recruitment_admissions/bologna_process_network)
- エキスポホールへの参加

## 今後の課題

- 全学レベルでの留学生政策の検討(方向性の明確化)
- 政策立案主体や意思決定プロセス等の明確化
- 既存のプログラムの充実化と新しいプログラムの開発
- 学内インフラ(国際会館の増設等)の充実化
- 日本人学生派遣強化を見越した教務
- 事務体制の再構築「国際戦略本部」のリーダーシップ